

広酪発足に際して寄せる酪農家の思い

～（組合経費の削減で生産者手取り乳価の引き上げを－）～

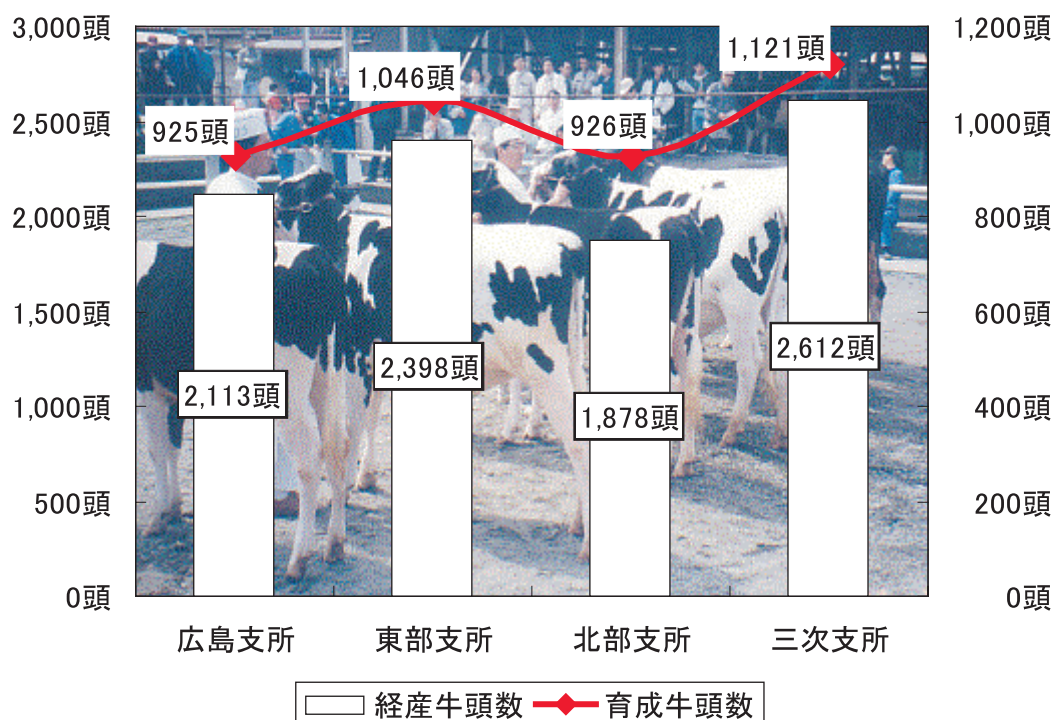
◆新生「広酪」発足前の1994年（平成6年）2月10日を締切日として、アンケート調査を酪農家425戸に対し実施し、これを新酪農協の「事業計画」の参考とした。回答数は395戸。

1) 組合員の年齢構成

(単位：人)

区分 支所	回答数	経営主の年齢						酪農従事 人数
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	
広島支所	87	1	12	15	22	25	12	202
東部支所	116	1	10	28	32	38	7	250
北部支所	82	2	10	25	23	16	6	186
三次支所	110	1	11	41	25	25	7	271
合計	395	5	43	109	102	104	32	909

2) 乳用牛飼養頭数（総頭数：13,019頭）－ 育成牛率31% －



3) 新組合に対して期待すること

項 目	広島支所	東部支所	北部支所	三次支所	全体	回答戸数に 対する割合
①集送乳合理化によって、生産者乳価を引き上げる。	32戸	60戸	39戸	40戸	171戸	43.3%
②組合経費の削減によって、経費負担を少なくし生産者乳価を引き上げる。	40戸	70戸	44戸	60戸	214戸	54.2%
③購買事業における取扱量の増大によるスケールメリットで飼料等の価格を安くする。	26戸	59戸	27戸	59戸	171戸	43.3%
④購買事業における流通合理化により経費削減で価格で安くする。	17戸	38戸	16戸	45戸	116戸	29.4%
⑤専任指導者による農家指導の徹底を図る。	12戸	19戸	9戸	22戸	62戸	15.7%
⑥情報活動を活発にして、中央、県内の情報を的確に組合員に伝達する。	16戸	19戸	16戸	15戸	66戸	16.7%
⑦家畜糞尿処理に対する積極的な対応で生産者が安心して酪農規模拡大ができる体制をつくる。	17戸	29戸	16戸	15戸	77戸	19.5%
⑧ミルクプラントの経営を強化して、利益を組合員に還元して欲しい。	4戸	14戸	15戸	19戸	52戸	13.2%
⑨わからない	6戸	12戸	8戸	7戸	33戸	8.4%
⑩その他	9戸	6戸	7戸	9戸	31戸	7.8%